

スポーツ かわさき

No. 52



式典で高橋清市長祝辞



スポーツフェスティバル開会式から

目次

(財)川崎市体育協会創立50周年記念 式典・功労者表彰・記念講演	②
同祝賀会・表彰者名簿・代表謝辞	③
秋天好日一記念フェスティバル	④
『川崎のスポーツ50年』刊行さる	⑤
学童泳力記録会実施される	⑥
親子ふれあいゲートボール大会	
県総体 川崎は9位	
市制記念体育大会の記録	⑦
受賞2題	⑦
川崎市スポーツ賞	
神奈川県スポーツ賞	
川崎フロンターレ「2優勝」1昇格	⑧

創立50周年記念特集

財団法人 **川崎市体育協会**

財団法人川崎市体育協会創立50周年記念

式典・功労者表彰・記念講演盛大に行われる 記念スポーツフェスティバルに加盟全種目協会参加

財団法人川崎市体育協会の創立50周年記念事業が盛大に展開されました。

その第1弾として平成11年10月30日(土)に、記念式典、功労者表彰式、記念講演会が川崎市立中原市民館の大ホールに400名に及ぶ加盟各種目協会の代表者や近隣の中学・高校の部活動を終えて駆けつけた生徒を集めて行われました。

また、第2弾として、11月14日とどろき緑地公園内のスポーツ施設を使い、全加盟団体が参加して「創立記念スポーツフェスティバル」を開催し、開会式に600名、終日5,000名にのぼる競技者やその家族・市民で賑わいました。

なお、第3弾に50周年記念誌『川崎のスポーツ50年』を発刊しました。



挨拶する柳川三五会長

柳川会長「市民スポーツ振興の

先導的役割を果たす」と抱負を語る

柳川三五会長は、式典の中で、川崎市体育協会の21世紀への飛躍を期して、「市民スポーツの普及・振興を図ることが「川崎市民のためのスポーツ組織」としての川崎市体育協会の使命である」とし、「その先導的役割を果たしていく」と今後の活動の方向を指し示しました。

祝辞に立った高橋清市長(現体育協会名誉会長)は「かつて本協会の会長を務めていたこともあって、ここに創立50周年を迎えたことは殊の外うれしい。創立時8団体で出発した協会が今や32団体、10万人を超える会員を擁する、名実ともに川崎のスポーツ界を統括するりっぱな協会になった。市としても健康都市をつくろうと議会とともに頑張っている。その“元気な街づくり”の中核となって頑張りたい。」と語りました。

続いて、神奈川県体育協会を代表して斉藤達也副会長及び布川光明川崎市教育委員会から祝辞がありました。



オリンピックゴールドメダリスト

三宅 義信 氏

「スポーツと人生」を語る

記念講演の講師に、かつてのウエイトリフティングの世界的選手三宅義信氏をお招きし、「スポーツと人生」の演題のもと、氏のウエイトリフティングに浸った人生を熱誠溢れる言葉で語っていただきました。

強い心と体を両親からもらったこと、27に及ぶ世界新記録が自分で考えた科学的(結果的に考えて)トレーニングと精神修養の融合によって勝ち得られたことを飾らない言葉で語り、多くの聴衆

に感銘を与えました。

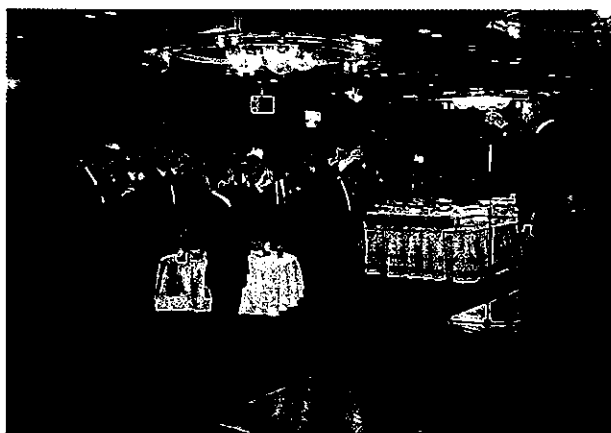
第18回東京オリンピックのモノクロのテレビで見たあの時の「日本のミヤケ」のバーベルを押し上げる姿を彷彿とさせ、改めて感動しました。

創立50周年記念表彰行われる

特別功労賞3, 功労賞19, 感謝状13贈呈

創立50周年記念表彰を体育協会の規定にもとづき行ないました。

特別功労賞は、顕著な功労のあった方々に贈られるもので、今回は3名。功労賞は協会加盟20年を経た種目団体から推薦された人を体育協会の選考委員会で審議の上、授与されるもので、19名が表彰されました。また、感謝状は、体育協会の法人化に際し、多大の賛助を戴いた団体または個人に贈呈されました。(氏名・団体名は右欄に掲載)



記念祝賀会に 300余人の来賓・関係者が交歓

式典・表彰式・記念講演を終え、会場近くのホテル・ザ エルシーに移して、創立50周年記念祝賀会を開催しました。

各界からの来賓・加盟各種目団体の代表者など300名を越える人々が集い、盛大な祝賀会となりました。

会長の挨拶、名誉会長の高橋清川崎市長のお祝いの言葉の後、横浜市体育協会の松沢賢吉副会長の発声で乾杯。テーブルを越え、競技団体の枠を越えて、国体の苦労話や共に苦労した仲間同志の思い出話など懇談・交流の花が各所で開き、肩を叩き合って今後の互いの健闘を約束するなど、楽しい会となりました。

創立50周年記念表彰者

特別功労者

高橋 清	体育協会名誉会長
高雲 和也	体育協会前会長
魚津 利興	魚津賞贈呈者

体育功労者

赤地 靖男	陸上競技	小笠原良雄	剣道
高橋 章	野球	森崎 幸一	相撲
梅澤 喜由	バレーボール	大箭 俊介	山岳
襦覇 朝明	バスケット	神川 豊喜	水泳
菊地 政宣	卓球	鈴木 正儀	スキー
高瀬 健二	テニス	榎本 賀一	スキー
鴨谷 嘉之	テニス	吉岡 幹雄	サッカー
鈴木 孝雄	ソフトテニス	野口 晏正	空手道
車 耕作	柔道		

感謝状贈呈 (法人化賛助者)

株式会社東芝
NKK京浜製鉄所
川崎信用金庫
東京電力株式会社川崎支社
東京ガス株式会社川崎支店
三菱自動車工業株式会社東京製作所
富士通株式会社川崎工場
日本電気株式会社玉川事業場
富士コカ・コーラボトリング株式会社
富士電気株式会社電機システムカンパニーエネルギー製作所
株式会社岡田屋
(助)川崎市公園緑地協会
大谷 金一

受賞者代表謝辞 中畑 一男

(スケート協会)

スポーツを通して健全な心身を

身にあまる賞を戴き心の引締まる思いでおります。心より御礼申し上げます。



戦後の混乱の中から立ち上がり、偉大な足跡を残された先輩や川崎市体育協会に支えられて活動を続けてまいりました。

今後も、スポーツを通して健全で明朗な精神を培うことに努めていきたいと考えています。ありがとうございました。



◀受賞者記念撮影



特別功労賞▲

祝賀会会場にて▶



体育功労賞▲



秋天好日 協会創立50周年記念事業スポーツフェスティバル

5000人の市民スポーツに親しむ

11月14日(日) 等々力緑地で開催



川崎市体育協会は、創立50周年記念事業の一環として、11月14日(日)午前9時からとどろきアリーナをメイン会場に等々力緑地一帯でスポーツフェスティバルを開催しました。

当日は、暖かいスポーツ日和に恵まれ、9時からの開会式に来賓、役員、協会加盟団体参加者、一般参加者600余名がメインアリーナに集合して始まりました。

まず、川崎市体育協会会長が「さる10月30日に

開催された記念式典のお礼と、同じく記念事業の一環としてのスポーツフェスティバルを通じて加盟団体と市民の方々の交流の機会とし、スポーツの秋にふさわしい好天に恵まれた一日を有意義に過ごしていきたい。」と開会の挨拶をされ、次に市長代理の深瀬助役から「50年の半世紀を協会の運営を支えてきた加盟団体に感謝するとともに、運動不足になりがちな方々のためにも、

これを機により結束を固めてスポーツの輪を広げ、より良い環境をめざして共に歩いていきたい。」と祝辞を述べられ、議長代理の佐藤副議長から「50周年のお祝いと、この一回だけにとどまらず健康都市宣言をした市にふさわしく地域と連携して市民全体をリードして行ってほしい。」と祝辞を述べられ、来賓の方々の紹介がされ、各イベントへのスタートを切りました。



記念誌

『川崎のスポーツ50年』刊行される

(財)川崎市体育協会創立50周年記念誌『川崎のスポーツ50年』が、3年間の編集期間を経てこのたび刊行されました。

先に、30周年記念に刊行された『川崎市体育協会史』や40周年記念誌として発刊された『市体協 ここ、10年の歩み』を包括して編集。とりわけこの10年に重点を置きつつ、明治時代・大正時代・昭和戦前・戦後（体育協会の歩み）と時代別の川崎のスポーツ活動を具体的な資料を加えながらまとめた概括編と「加盟団体の歩み」編および資料編に分けて記述されています。写真が多く掲載されています。非売品で、関係各所および加盟団体に配布されました。



学童泳力記録会実施される

学童泳力記録会は今年で25回目を迎えました。昨年までは8月の初旬に開催していたが、夏休み中ということもあり、子どもたちがもっと参加しやすいようにとの考えから、今年は開催日を9月の第一日曜日（4日）に移して等々力プールで行われました。

当日は天候に恵まれ、200mメドレーリレーには25チーム、200mフリーリレーには男女合わせて35チームが参加しました。個人種目のほうでは男女合わせて582名が日頃の練習の成果を競いました。当日は大会新記録が25個生まれ、年々力が向上していることがうかがわれました。日本水泳連盟が出している標準記録のほうは、今年改訂されて難しくなったのだが、記録突破数はリレーと個人を合わせて全体で271個となかなかの好成績でありました。学年で見ると5、6年生は改訂の影響かやや数が少なく、種目では平泳ぎが突破数の少ないことが目立ちました。

記録会は第一回が行われたのが昭和46年で、大谷戸小学校の25mのプールを借りて開催されました。この時は役員数もわずか10数名でした。それから四半世紀、年々規模が大きくなっているため、大会関係者は「第一回を思い出すと隔世の感があります。今年はタッチ板を使って記録計時の面の改善を図ったが、これから来年以降に向けて他の運営面でもいろいろと改善に取り組んでいこうと思います」と意欲を新たにしていました。

体育の日記念・

親子ふれあいゲートボール大会

晴天の下、160人ゲームを楽しむ

「体育の日」を記念しての親子ふれあいゲートボール大会が、10月10日、中原区等々力緑地で開催されました。9時には選手たちも勢ぞろい。9時30分より開会式。競技内容などの説明などを行い、10時に競技開始。天候もよく絶好のコンディションでの大会で、素晴らしい競技が随所に見られました。

子供チーム67名、一般チーム93名、計160名の参加でした。（ゲートボール協会 斉藤 一）

◆なお、斉藤さんはこの記事を書き上げた後、急逝されました。ご冥福をお祈りいたします。



第50回県総合体育大会

川崎は総合で9位

平成11年度の神奈川県総合体育大会は、去る9月26日(日)をもって全競技日程を終了し、川崎市は冬季・夏季・秋季大会の総合で9位という成績でした。

優勝は藤沢市で、以下2位横浜市、3位相模原市、4位平塚市、5位茅ヶ崎市、6位小田原市でした。種目別では、クレール射撃の優勝、陸上競技の準優勝、弓道の3位などの好成績が挙げられますが、一方、ソフトボール、バレーボール、軟式野球、卓球、バスケットボールなどの不振が目立ったようです。これらは、組み合わせによる運不運のある競技ですので、一概には言えませんが、伝統ある100万都市として捲土重来を期して欲しいと思います。

主な成績は次のとおりです。

◎クレール射撃競技 総合1位

トラップ部門 187点 2位

市川 征二、小熊 光男、伊藤 敏尚

スキート部門 198点 1位

遠藤 武司、大橋禮之助、関口 昌宏

◎陸上競技 総合2位（男子2位、女子3位）

男子 800m 永田 恵一 3位 2.05.8

4×100mR 佐藤・坂本・水上・林田

2位 49.9

走高跳30歳未満 田中 宣晴 3位 1m85

走幅跳30歳未満 宮川 雅道 1位 6m49

円盤投30歳未満 笹原 豊 3位 30m56

円盤投30歳以上 梶 裕之 1位 43m00

女子 200m 杉原 幸代 2位 29.2

砲丸投 佐野 朗子 3位 9m27

円盤投 小林 麻記 2位 28m30

平成11年度 市制記念体育大会の記録

弓道大会

団体の部 優勝 川弓会A 準優勝 川弓会B

バドミントン大会

個人の部 男子A級 優勝 小林・立石 (サンクラブ)
 〃 男子B級 優勝 緑川・小暮 (東燃化学)
 〃 女子A級 優勝 村上・阿由葉 (個人)
 〃 女子B級 優勝 加藤・渡辺 (川商ク)

バレーボール大会

男子1部 優勝 六虎会 準優勝 R・S・K
 男子2部 優勝 THFク 準優勝 十四六
 女子1部 優勝 KID'S 準優勝 HaYaTo
 女子2部 優勝 JUDY- 準優勝 S S Iク

ハンドボール大会

一般男子 優勝 I・Hク 準優勝 劇団なにわ
 一般女子 優勝 新城ク 準優勝 生田東ク



ボウリング大会

29以下の部 優勝 小田 武秀 準優勝 秋庭智幸
 30代の部 優勝 星野 圭子 準優勝 大塚 博
 40代の部 優勝 沢藤 守康 準優勝 松田英明
 50代の部 優勝 山下 光治 準優勝 青木増位

ゴルフ大会

優勝 佐野公一 準優勝 牧野吉秀

相撲大会

高校生の部 優勝 佐々木啓太 準優勝 藤城亮太
 中学1年 優勝 溜 恵太 準優勝 田村大地
 中学2年 優勝 中島 大志 準優勝 竹田友樹
 中学3年 優勝 レオナルド・オペロ 準優勝 持田正樹
 中学団体 優勝 桜本A 準優勝 京町A

バスケットボール大会

一般男子 優勝 南高ク 準優勝 スチール
 一般女子 優勝 川崎南OG 準優勝 MAX
 ジュニア男子 優勝 生田東B 準優勝 生田東A
 ジュニア女子 優勝 生田 準優勝 住吉

受賞2題

おめでとうございます

川崎市スポーツ賞 (実践)

伊東浩司

98年にタイのバンコクで開かれたアジア大会で100M 200M 400Mに優勝。陸上競技三冠王を達成し、大会の最優秀選手に選ばれました。現在100M (10秒0) 200M (20秒16) の日本記録保持者。富士通川崎工場の所属。

神奈川スポーツ賞

東芝野球部 (川崎市堀川町)

第54回全国社会人野球東京大会・第70回都市対抗野球大会で全国優勝を果たしました。



川崎市庁舎前をパレードする東芝野球チーム

市内各地から1,000名参加

10/3 川崎ヘルシーウォーク

「健康と川崎再発見」—川崎を歩こう—をスローガンに第6回川崎ヘルシーウォーク (当体育協会も実行委員会の一員として参加) が、好天に恵まれた去る10月3日 (日) 1,000名余の参加者を得て盛大に開催されました。

今年から、「ニヶ領用水コース」(多摩区役所)、「多摩川コース」(JR川崎駅西口)、「多摩川河原とせせらぎ広場コース」(高津区役所)、「矢上川コース」(中原区役所) の4コースに整理されて実施されました。

() 内は集合地点

最終地点で参加者全員に「完歩賞」が交付され、フォークダンス協会の指導による「水戸黄門歩け歩け踊り」などを前段とする閉会式や防災テントなど素晴らしい景品の当たる抽選会などがあり、秋の半日を皆で楽しみました。



川崎フロンターレ J2優勝 J1昇格

地元川崎をホームタウンとするサッカーJ2チーム川崎フロンターレが、リーグ優勝そして宿願であったJ1リーグへの昇格が決まりました。今後の健闘が期待されます。



J1昇格決定の瞬間に
スタンドから拍手をおくる高橋 清市長
11/5 等々力競技場にて

なお、川崎フロンターレは、(財)川崎市体育協会の賛助会の会員になっています。

賛助会入会へのお誘い

当協会は市民総スポーツ・生涯スポーツをスローガンとして市民各層にスポーツ活動に参加する機会を提供しようと努めています。地域スポーツに関心を持つ方々、「川崎市体育協会賛助会員」にご入会くださいませんか。

会費は、年額個人会員は1口2,000円、団体会員は1口1万円です。ご入会をお待ちしています。

〈お申し込み先〉

(財)川崎市体育協会事務局 TEL044-556-5511
〒212-0007 川崎市幸区河原町1

ご案内 申し込みはすべて体育協会に

- 川崎市民スケート教室
場 所：神奈川スケートリンク
日 程：第1日 1月22日(土) 18:45~20:15
第2日 2月5日(土) 〃
参加費：1回 1,300円
- 川崎市民親子スキー教室
期 間：3月26日(日)~29日(水)
場 所：車山高原スキー場

- 参加費：大人41,000円 こども39,000円
- 初心者水泳教室と水中ウォーキング
期 間：2月21日~3月15日の月・水の8回
場 所：津田山スイミングスクール
参加費：8,000円

編集委員ご紹介

下記のメンバーで本誌を編集しています。ご一読後のご感想、編集上のご要望などございましたら、体育協会事務局へお寄せくださいますよう。一同頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

編集委員長	野 口 始 男	ハンドボール
副委員長	中 山 剛	バドミントン
委員	柴 寄 淳	水 泳
	小 嶋 創	水 泳
	皆 川 敏 明	陸上競技
	左 澤 重 明	山 岳
	楯 崎 尚	ラグビー
インターネット	皆 川 英 治	少林寺拳法
	高 田 彬 成	陸上競技

編集後記

前号51号から上のメンバーで編集しています。年間3回の発行で6,10,2月の各月末に発行しています。

従来A4版12頁または16頁で編集していましたが、今年度財政的な事情から従来の頁数を維持できなくなり、51号から8頁だてとするようになりました。内容的に従来の各競技団体の試合結果が全部網羅されるというわけにいかなくなったことをご理解いただきたいと思います。

◎今回は、創立50周年特集を組みました。記念行事の関係で発行日が1ヶ月遅くなりました。

スポーツかわさき 52号

発 行 平成11年11月30日

(財)川崎市体育協会

〒212-0007 川崎市幸区河原町1

TEL 044-556-5511 FAX 044-556-5559

ホームページアドレス <http://www.netlaputa.ne.jp/~taikyo/>

編 集 (財)川崎市体育協会 広報委員会

印 刷 (株)第一サンエー (TEL044-222-2356)

〒210-0002 川崎市川崎区榎町3-9